

第5回 航空自衛隊第1補給処オフィス家具等
の事務用品談合事案調査・検討委員会

議 事 概 要 等

- 1 日 時：22年7月2日（金）1030～1210
- 2 場 所：統幕第1大会議室
- 3 出席者：楠田防衛大臣政務官、防衛事務次官、大臣官房長、人事教育局長、
経理装備局長、岩井審議官（総合取得改革担当）
統合幕僚長、陸上幕僚長、海上幕僚長、航空幕僚長、防衛監察本部
統括監察官
川戸 恵子 自衛隊員倫理審査会会長（有識者委員）
小室 恒 防衛人事審議会会長（有識者委員）
坂井 一郎 防衛調達審議会会長（有識者委員）
人事教育局人事計画・補任課長、経理装備局監査課長、経理装備局
装備政策課長

4 楠田防衛大臣政務官の冒頭発言の概要

- 本日は、調査・検討委員会の第5回目。前回の調査・検討委員会から約1か月が経過したので、その後の調査の状況について報告を受けることとする。
- 前回の委員会において、主な点として、次の3点の調査を進めることとしていたところ。
 - ・ 第1補給処におけるオフィス家具等の調達に関し、談合行為及びこれに対する官側の関与行為については、調査協力依頼に対する関係事業者からの回答内容の分析を含め、事案の仕組みの細部に関しての分析や予算執行の調査
 - ・ 第1補給処におけるオフィス家具等以外の調達に関し、事業者別の目標を達成するための仕組みを解明するため、関係職員からの聞き取り及び関係書類の分析
 - ・ 省内全機関におけるオフィス家具等の調達に関し、各機関の監察・監

査部署による調査の結果の評価・分析

- 本日は、このような点を含め、前回の委員会以降の調査の状況について報告を受け、委員からのご意見を頂くとともに、今後の調査の進め方についても議論したい。

5 議論の概要

資料に基づく説明の後、次のような点について、質問や意見が出された。

- 調査を始めてから時間も経過しており、国民との関係でも、この事案の本質をどのように捉えるのかを本委員会の場に早く提示し、改善策の検討に入るべきとの意見があった。
- 調査をするに当たっても、事案の本質を理解した上で、ポイントを明確にして作業をすべきとの意見があった。
- 本委員会の検討は、オフィス家具等の官製談合事案を発端とするものであるが、改善策については、オフィス家具等以外の調達の適正化にも繋がる汎用的なものとなるような検討が必要であるとの意見があった。
- 事案が複雑で、調査の間口が広がっているため、調査に時間を要しているが、徹底的な調査をする必要性と国民目線での時間軸とのバランスが大事との意見があった。
- 改善策の議論に入っていけるよう論点の整理をすべきとの意見があった。

6 楠田防衛大臣政務官の閉会発言の概要

- 本日は、有識者委員も含めて率直な議論をいただき、国民から見た論理というものを改めて感じたが、今後、できる限り早く事案の全体像とそれを踏まえた再発防止策を見える形にして提案していきたいと思う。

(以上)